

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●マイルチャンピオンシップはミッキーアイルが逃げ切りV

11月20日(日)のマイルチャンピオンシップ(G I)では、ミッキーアイル(牡5歳/栗東・音無秀孝厩舎)が逃げ切って優勝、2014年NHKマイルカップ以来2年6か月ぶりとなるG I・2勝目をあげました。マイルチャンピオンシップの逃げ切りは1991年のダイタクヘリオス以来25年ぶりのこととなります。

### ●五十嵐雄祐騎手が障害レース年間100回騎乗を達成

11月20日(日)の3回福島6日・第5レースでトーセンモバイルに騎乗した五十嵐雄祐騎手(美浦・フリー)は、障害レース年間騎乗100回を達成しました。これは1960年の長池辰三元騎手以来56年ぶりの記録で、障害レースの大幅な改善(グレード制導入、重賞レース増設、レース条件の見直しなど)が図られた1999年以降では初のこととなります。

### ●秋の福島リーディングジョッキーは吉田隼人騎手

11月20日(日)をもって3回福島競馬が終了し、この開催で5勝・2着6回の成績を残した吉田隼人騎手(美浦・フリー)が、5勝・2着3回の丸田恭介騎手を抑えて2年連続での秋季福島競馬リーディングジョッキーに輝きました。

### ●香港の国際騎手招待競走に戸崎騎手とデムーロ騎手が出場

12月7日(水)、香港・ハッピーバレー競馬場にておこなわれる「2016 ロンジン・インターナショナル・ジョッキーズ・チャンピオンシップ」に、戸崎圭太騎手(美浦・田島俊明厩舎)とミルコ・デムーロ騎手(栗東・フリー)が出場することとなりました。同チャンピオンシップには世界各国と香港から計12名の騎手が参戦し、計4レースのポイントによって成績を争います。

### ●チャンピオンズカップに外国馬の出走なし

チャンピオンズカップ(G I)に選出されていた各馬の関係者より出走を辞退する旨の連絡がありました。これにより同レースへの外国馬の出走はなくなりました。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●ケイティブレイブが浦和記念(浦和)で3度目の重賞制覇

浦和記念(Jpn II、11月22日、浦和、2000米)は、2番手追走から向正面半ばで早々と抜け出したケイティブレイブ(武豊騎手、牡3歳、父アドマイヤマックス)が後続を4馬身引き離し、単勝1.3倍の圧倒的支持に応えました。3番人気のクリソライトが2着に入り、メイショウヒコボシは4着、2番人気に推されたストロングサウザーは9着に敗れています。なお、武豊騎手はこれで地方競馬のダートグレード競走通算100勝達成となりました。

### ●兵庫ジュニアグランプリ(園田)は北海道のローズジュレップ

兵庫ジュニアグランプリ(Jpn II、2歳、11月23日、園田、1400米)は、2番手から4コーナーで先頭に立った6番人気の北海道のローズジュレップ(川原正一騎手=兵庫、牡、父ロージズインメイ)がそのまま押し切って優勝。ハングリーベンが2着、2番人気のゲキリンは4着、ダート未経験ながら1番人気のアズールムーンは5着、逃げた3番人気のネコワールドは6着、リンクスゼロは8着でした。

### ●ダービーグランプリ(水沢)は大井のトロヴァオが優勝

ダービーグランプリ(11月20日、水沢、2000米)は、3番人気の大井からの遠征馬トロヴァオ(牡、父カネヒキリ)が2番手から3、4コーナー中間で先頭に立って6馬身差で圧勝。地元岩手のエンパイアペガサスが2着に入り、単勝1.9倍で断然人気のバルダッサーレ(大井)は3着に敗れています。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●香港国際競走に向けた前哨戦3レースが開催

12月11日の香港国際競走に向けた3つの前哨戦が11月20日に香港のシャティン競馬場で行われました。まずG 1 香港CとG 1 香港ヴァーズに向けたG 2 ジョッキークラブC(芝2000米)は、シークレットウェポン(騾6歳、父ショワジュール)が後方から鋭く伸びて快勝。今年2月のローカルG 3 センテナリーヴァーズ以来となる勝利を収めました。2年前の香港Cの勝ち馬で、1番人気に推されたデザイオンオンロームは直線で伸びず最下位に終わっています。G 1 香港マイルへと続くG 2 ジョッキークラブマイル(芝1600米)は、昨年のローカルG 1 香港クラシックマイルの勝ち馬で2番人気のビューティーオンリー(騾5歳、父ホーリーローマンエンペラー)が差し切り勝ち。地元香港馬の代表格として外国馬を迎え撃ちます。最後にG 1 香港スプリントへのステップとなるG 2 ジョッキークラブスプリント(芝1200米)は、単勝43.1倍の伏兵ノットリスニントゥミー(騾6歳、父ディラントーマス)が先行策から直線でもしっかりと伸びて優勝。昨年の香港マイル3着の後で屈腱炎が判明し、ここが約11か月ぶりのレースとなったエイブルフレンドは4着でした。